

【事例19】 工賃向上に向けた取組

施設名	自立支援センターおひさま（土浦市穴塚）		
設置者	株式会社パートナーズ		
定員	18名		
利用者数	24名		
平均月額工賃の推移 （ ）は旧計算式	R3：19,259円	R4：20,365円	R5：29,230円 (26,823円)
主な作業内容	施設外就労（工場内作業）、内職作業、清掃		

工賃向上に向けたアドバイス

■ 「経営的な目線」を持つこと

- ・ 職員が実際に作業をして時給を算出してみる⇒時給が低い作業は請けないことも必要
- ・ 当たり前なことだが、作業ノルマを厳守するなど「発注元との信頼関係を築くこと」が重要

■ 案件の開拓は「攻め」の姿勢で

- ・ 茨城県共同受発注センターの紹介案件はもちろん、発注元とつながりがある企業や元利用者が一般就労した企業など、あらゆるところにアンテナを張ること
- ・ 企業は「障害者ができる仕事かどうか」判断できないケースが多い
⇒事業所側から積極的に作業の提案・アプローチをしていくのも効果的

〔 例：元利用者が一般就労した企業へ見学に行った際、従業員の作業を見かけた
→「この仕事なら障害者でもできそう」と思い、声かけした結果、新たな作業の発注につながった 〕

その他

- ・ 利用者が生活を維持できる水準は「障害年金＋工賃＝9万円超」
⇒月3万円以上の工賃を支払うことが就労継続支援B型事業所としての責務であり、実現に向けて取り組んでいる
- ・ 年間を通じて作業量を確保するため、また、障害が重い利用者でもできる作業を確保するため「時給は低いが作業量が多い」作業も請けている
- ・ 作業に当たっては、発注元からの指示・作業工程を踏まえつつ、利用者が効率よく作業できるように切り分けを行う
それが職員の業務であり、場合によっては発注元に作業工程の見直しを提案することもある

施設外観



施設外就労の様子（※事業所からご提供いただいた写真になります）



内職作業の様子①



内職作業の様子②

